



Acoustimass® 6 series V
Acoustimass® 10 series V
home theater speaker systems

オーナーズガイド

安全上の留意項目

このオーナーズガイドに記載された内容をよくお読みください。また、必要な時にすぐご覧になれるように、大切に保管しておくことをおすすめいたします。

 正三角形に矢印付き稲妻マークが入った表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。

 正三角形に感嘆符が入った表示は、製品本体にも表示されている通り、このオーナーズガイドの中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることをお客様に注意喚起するものです。

 **警告:**

- ・火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- ・水漏れやしびれがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。他の電気製品と同様、システム内に液体が侵入しないように注意してください。液体が侵入すると、故障や火災の原因となることがあります。
- ・火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。

 **注意:**

- ・許可なく製品を改造しないでください。安全性、法令の遵守、およびシステムパフォーマンスを損なう原因となり、製品保証が無効となる場合があります。

 **警告:** この製品には磁性材料が含まれています。埋め込み型医療機器の動作に影響があるかどうかについては、医師にご相談ください。

注記:

- ・万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。
- ・この製品は室内専用機器です。屋外、RV車内、船上などで使用するようには設計されていません。また、そのような使用環境におけるテストも行われていません。
- ・付属のケーブル類は、壁内や天井裏、床下等の隠ぺい配線用ではありません。隠ぺい配線を行う際は、お住まいの地域の法令等に準拠したケーブルや施工法をご確認ください。詳しくは専門の施工業者にご相談ください。

 This symbol means the product must not be discarded as household waste, and should be delivered to an appropriate collection facility for recycling. Proper disposal and recycling helps protect natural resources, human health and the environment. For more information on disposal and recycling of this product, contact your local municipality, disposal service, or the shop where you bought this product.

 Bose Corporation hereby declares that this product is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC and all other applicable EU directive requirements. The complete declaration of conformity can be found at: www.Bose.com/compliance.

安全上重要な指示

1. このガイドをよくお読みください。
2. 必要な時にご覧になれるよう、本書を保管してください。
3. すべての注意と警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れは乾いた布を使用し、ボーズ社の指示に従って行ってください。
7. 通気孔は塞がないでください。ボーズ社の指示に従って設置してください。
8. ラジエータ、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
9. 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーパープラグ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
10. 必ずボーズ社により指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。
11. 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
12. 修理が必要な際には、サービスセンターにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、たとえば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への落下、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、直ちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

Names and Contents of Toxic or Hazardous Substances or Elements						
Part Name	Toxic or Hazardous Substances and Elements					
	Lead (Pb)	Mercury (Hg)	Cadmium (Cd)	Hexavalent (CR(VI))	Polybrominated Biphenyl (PBB)	Polybrominated diphenylether (PBDE)
PCBs	X	0	0	0	0	0
Metal parts	X	0	0	0	0	0
Plastic parts	0	0	0	0	0	0
Speakers	X	0	0	0	0	0
Cables	X	0	0	0	0	0
0: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in all of the homogeneous materials for this part is below the limit requirement in SJ/T 11363-2006.						
X: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in at least one of the homogeneous materials used for this part is above the limit requirement in SJ/T 11363-2006.						

控えとして、製品のシリアル番号を下の欄にご記入ください。

シリアル番号とモデル番号は、Acoustimass®モジュールの端子パネルにあります。

シリアル番号: _____

モデル番号: _____

購入日: _____

このガイドと共に、ご購入時の領収書と保証書を保管することをおすすめします。

はじめに

お買い上げありがとうございます	4
内容物の確認	4

セットアップ

リアルなホームシアターサウンドを再生するためのスピーカーの配置	5
フロントL(左)、R(右)スピーカー	6
センタースピーカー	6
リアスピーカー	6
Acoustimass®モジュール	6
接続	7
スピーカーをAcoustimassモジュールに接続する	7
Acoustimass®モジュールをアンプに接続する	8
接続を確認する	9

システムの使用

ホームシアター用スピーカーを最大限に活用する	10
部屋に合わせて低音の音量を調節する	10
重低音の音量を調節する	10
デジタルサラウンドAVアンプを設定する	11
デジタル音声信号を受信する	11
アナログサラウンドAVアンプを設定する	11

リファレンス

故障かな?と思ったら	12
お問い合わせ先	13
お手入れについて	13
保証	13
アクセサリ	13
仕様	14
スピーカードライバーユニット	14
システムの電源定格	14
接続	14

はじめに

お買い上げありがとうございます

この度はBose® Acoustimass® 6 series VまたはAcoustimass 10 series V home theater speaker systemをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

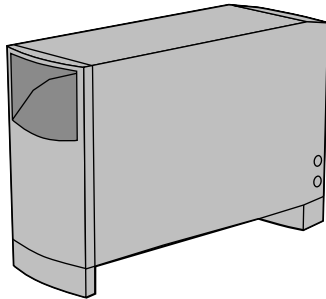
Acoustimass 6は、小型キューブスピーカーを6台使用する製品です。またAcoustimass 10は、キューブ型スピーカーアレイを4台、フロントセンタースピーカーを1台使用する製品です。これらのスピーカーとAcoustimassモジュールにより、パワフルでリアルなホームシアター体験をお楽しみいただけます。

内容物の確認

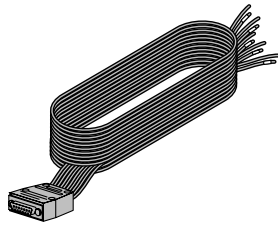
箱の中身を取り出します。

1. 茶色い中箱を取り出し、中に収納されているスピーカーを取り出します。
2. 箱を静かに横向きに倒して、Acoustimassモジュールを取り出します。

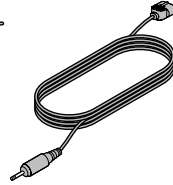
警告: モジュールは約14 kgあります。持ち上げる時は怪我をしないように慎重に取り扱ってください。



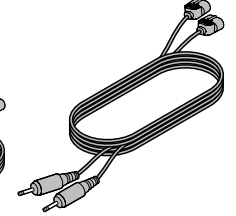
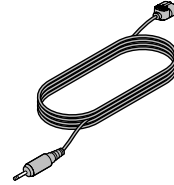
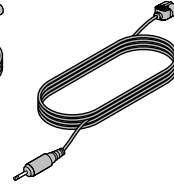
Acoustimass モジュール



6.1 m (20 フィート) システム入力ケーブル

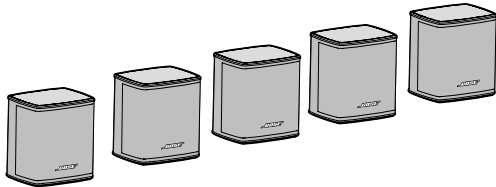


6.1 m (20 フィート) フロントスピーカー用ケーブル
3本



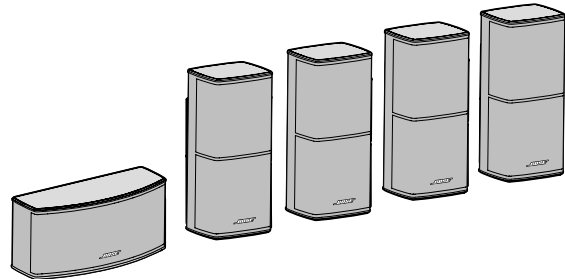
15.2 m (50 フィート)
リアスピーカー用ケーブル
2本

Acoustimass 6 system に付属するもの



Virtually Invisible® series II スピーカー 5台

Acoustimass 10 system に付属するもの



Direct/Reflecting® series II スピーカー 4台および
横型センターチャンネルスピーカー 1台

電源コード (1)



米国/カナダ



ヨーロッパ



英国/シンガポール



オーストラリア

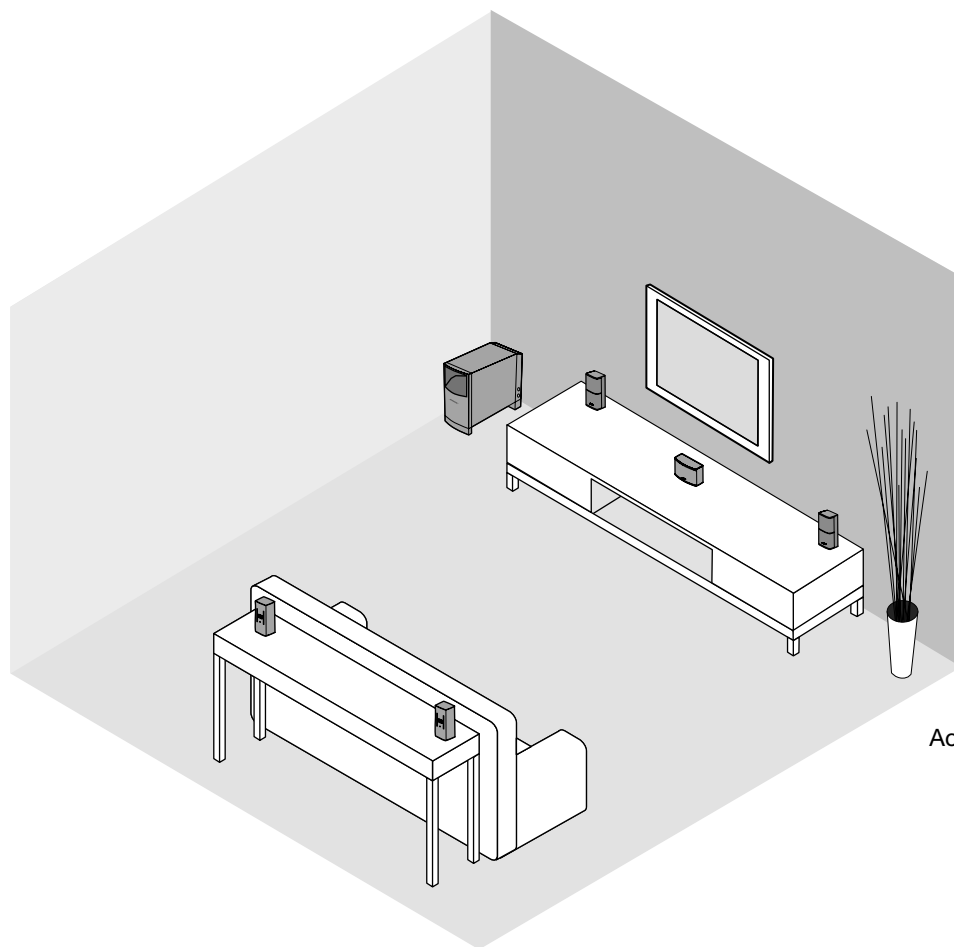
ここで製品のシリアル番号を保証書に記録しておくことをおすすめします。箱と梱包材は、後日製品の修理メンテナンス等が必要になった場合のために保管しておくことをおすすめします。

警告: 窒息する危険がないように、スピーカーを覆っていたビニール袋はお子様の手が届かないところに保管してください。

リアルなホームシアターサウンドを再生するためのスピーカーの配置

スピーカーの設置場所を選ぶ際は、このガイドラインを参考にしてください。

- Acoustimass®モジュールは、画面に干渉しないようにテレビモニターから60 cm以上離して設置してください。
- スピーカーは安定した水平な面に設置してください。
- Acoustimass 10 systemのセンターチャンネルスピーカーは、テレビの中心線の真上または真下に設置します。他のスピーカーはすべて同じユニットですので、フロントL/R、サラウンドL/R用にどのユニットを置いておかまいません。
- Acoustimass 6 systemの5台のスピーカーはすべて同じユニットですので、センター、フロントL/R、サラウンドL/R用にどのユニットを置いておかまいません。
- お部屋の形状と大きさ、室内の家具の配置などに応じて、適切なスピーカーの場所をお選びください。下の図は、ホームシアター用のガイドラインとなる設置例を示しています。



Acoustimass 10 series V system

セットアップ

フロントL(左)、R(右)スピーカー

視聴者がお部屋のどこに座っていても自然なサウンドが聞こえるように、画面より広がりのあるサウンドイメージ作りを目指します。

- 2台のスピーカーをテレビの両側に設置します。
- 左右のスピーカーは2～5 mほど離します。ブラウン管式テレビをお使いの場合は、テレビ画面から15 cm以上離して設置してください。

センタースピーカー

画面の情景や登場人物にリアリティを持たせるには、センタースピーカーの音が画面から聞こえるようにする必要があります。

- センタースピーカーはテレビの真上または真下に設置するか、テレビ本体の上に直接置きます。スピーカーの上にテレビを直接置かないでください。
- 登場人物から台詞が聞こえるようにするには、テレビ画面の中心線を上下に延長して、できるだけその線上にスピーカーを配置します。
- ブラウン管式テレビをお使いの場合は、テレビ画面から15 cm以上離して設置してください。

リアスピーカー

リア(サラウンド)スピーカーは、台詞の再生にも使用されますが、主に画面の視覚効果を高める周囲の環境音や特殊効果音を再生するためのものです。情景の中にいるような感覚を視聴者に与える効果があります。

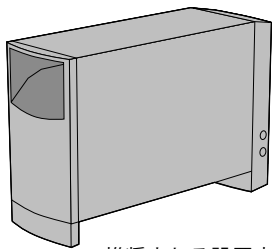
次の推奨ガイドラインを参考にして、邪魔にならずに設置しやすい場所をお選びください。

- 左右のリアスピーカーは、視聴者の真後ろではなく両側から音が聞こえるような場所に設置します。
- スピーカーは、座った時の耳の高さと同じか、それより高い場所に設置してください。

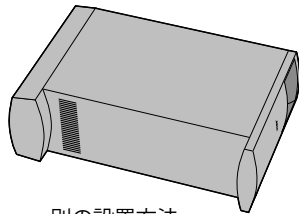
Acoustimass®モジュール

Acoustimassテクノロジーにより、このモジュールでは音源の位置を特定できない広がりのある低音が再生されます。視界に入らない場所を自由にお選びください。次のガイドラインに沿ってモジュールを設置します。

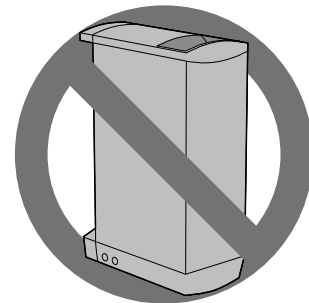
- 室内にテレビが置かれている側に設置します。
- 画面に干渉しないようにテレビモニターから60 cm以上離します。
- 低音域の力強さを増すには、前面の開口部を壁の方に向けてください。壁の方を向けないようになると、低音域の聞こえ方は弱まります。
- モジュール前面の開口部や底面の換気孔と、壁や家具などの間には、隙間を5 cm以上空けてください。
- モジュールの底面にある換気孔は塞がないでください。通気が妨げられると、モジュールの低音域出力が低下する場合があります。



推奨される設置方法



別の設置方法



接続

アンプにはAcoustimass®モジュールのみを接続します。スピーカーはすべてAcoustimassモジュールに直接接続します。

警告: スピーカーをアンプに接続しないでください。スピーカーをアンプに接続すると、システムを破損したり、感電したりする恐れがあります。

スピーカーをAcoustimassモジュールに接続する

スピーカーケーブルのプラグをモジュールの端子に接続します。プラグのラベルと端子の名称を合わせてください。

1. フロントスピーカー 3台には、付属の6.1 m (20 フィート)スピーカーケーブルを使用します。

- **R** プラグを **Right Front** 端子に接続します。
- **C** プラグを **Center Front** 端子に接続します。
- **L** プラグを **Left Front** 端子に接続します。

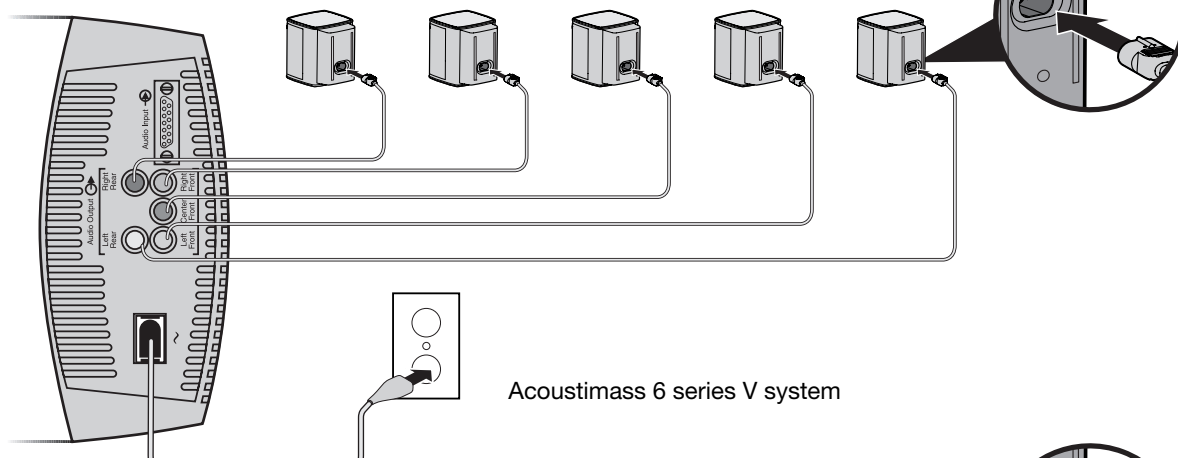
2. リアスピーカーには付属の15.2 m (50 フィート)スピーカーケーブルを使用します。

- **RR** プラグを **Right Rear** 端子に接続します。
- **LR** プラグを **Left Rear** 端子に接続します。

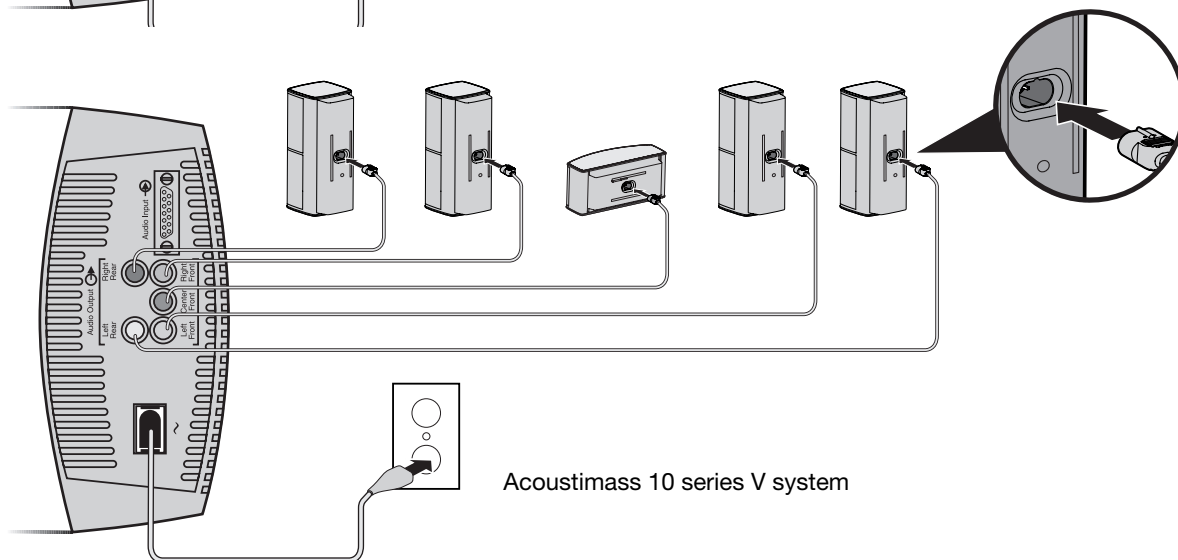
3. スピーカーケーブルの反対側のプラグを、ラベルのある面を下にして各スピーカーに接続します。

注記: スピーカーケーブルのラベルに記載された位置にあるスピーカーに正しく接続してください。

スピーカーケーブルのラベル	
L: フロント左(L)スピーカー用	LR: リア左(L)スピーカー用
R: フロント右(R)スピーカー用	RR: リア右(R)スピーカー用
C: フロントセンタースピーカー用	



Acoustimass 6 series V system



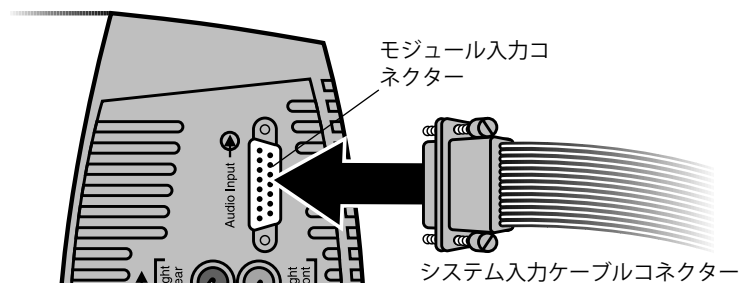
Acoustimass 10 series V system

セットアップ

Acoustimass®モジュールをアンプに接続する

注意: ケーブルを接続した時に不快なノイズが発生しないように、Acoustimass®モジュールをアンプに接続する前に、アンプの電源をオフにしてください。

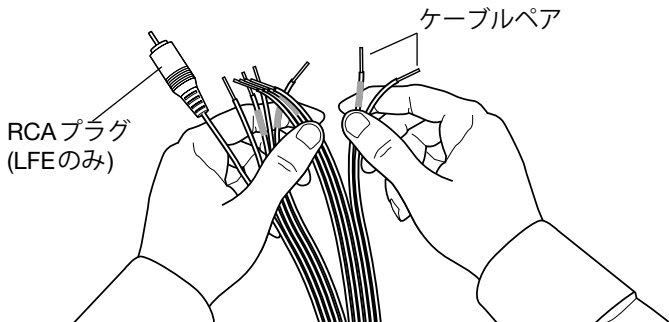
AVアンプとの接続には、長さ6.1 m (20フィート)のシステム入力ケーブルを使用します。スピーカーケーブルとは違い、この入力ケーブルにはマルチピンコネクターが使用されており、このコネクターをモジュールの**Audio Input**端子に接続します。



システム入力ケーブルの反対側はケーブルペアの組み合わせで、アンプのターミナルに簡単に差し込めるように無加工の先バラ線になっています。+極側につなぐケーブルには赤いマークが付けられています。

注意: テレビの出力は十分に増幅されていないため、モジュールをテレビに接続しないでください。

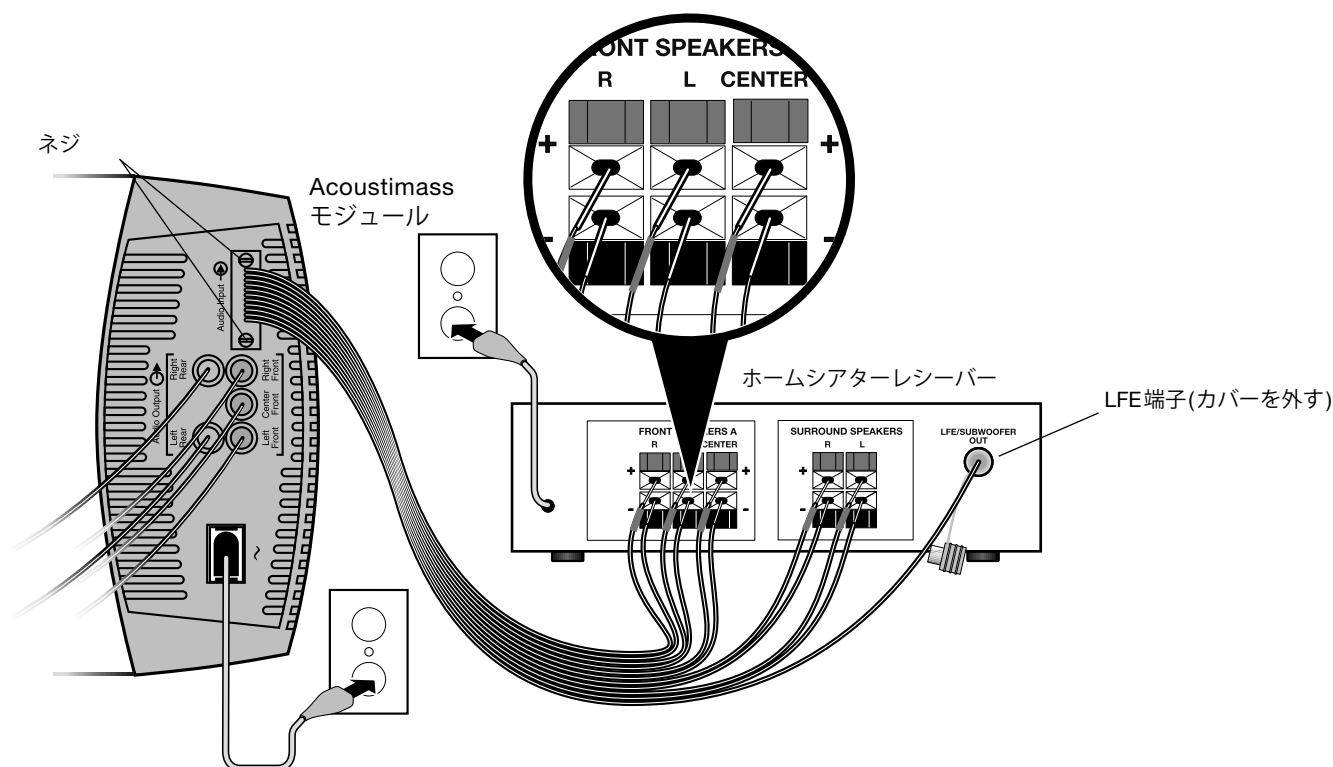
先端にRCAプラグが付けられているケーブルは、LFE（低域効果音）出力用**LFE/SUBWOOFER**端子のあるアンプ専用です。



接続するには:

1. システム入力ケーブルのマルチピンコネクタを Acoustimass®モジュールの入力端子に接続します。2本のネジを指で締めてコネクタを固定します。
2. システム入力ケーブルの反対側のケーブルペアをAVアンプに接続します。アンプの音声出力ターミナルには次のようなラベルが付いています。
 - フロント音声チャンネル右(Right)、左(Left)、中央(Center)。
 - リア音声チャンネル右(Right Surround)、左(Left Surround)。具体的な表記はアンプによって若干異なる場合があります。

注意: ケーブルがショートするとアンプを損傷する恐れがありますので、ケーブルの先がターミナルからはみ出さないようにしてください。
3. 端子の極性を合わせます(+側ケーブルは+極に、-側ケーブルは-極に接続します)。
 - 赤いマークの付いたケーブル(+側)を対応する+極に接続します。
 - マークのないケーブル(-側)を対応する-極に接続します。
4. アンプがサブウーファー出力に対応している場合は、システム入力ケーブルの**LFE**マークが付いたRCAプラグをAVアンプの**LFE/SUBWOOFER OUT**端子に接続します。カバーを先に外してください。



接続を確認する

Acoustimassモジュールを電源に接続する前に、アンプとモジュールの間と、モジュールとスピーカーの間の接続をすべて確認します。

- 室内の位置に応じて、スピーカーが適切なターミナルに接続されていることを確認します。
- AVアンプで、すべてのケーブルが正しい極性のターミナル(+側ケーブルは+極、-側ケーブルは-極)に接続されていることを確認します。ケーブルを誤って接続すると、モジュールの出力が完全に失われる場合があります。
- アンプを電源に接続してオンにする前に、ケーブル接続を終了させておいてください。

接続をすべてチェックしたら、Acoustimassモジュールの電源コードのプラグを壁のコンセントに差し込みます。同様に、アンプの電源も接続します。

注記: すべての電子機器に、高品質のサージプロテクターをお使いになることをおすすめいたします。電源電圧の変動や急激な上昇があると、電子機器が破損する恐れがあります。高品質のサージプロテクターを使用することにより、電源電圧の急激な上昇で発生する障害の多くを防ぐことができます。サージプロテクターは、家電量販店などでお求めください。

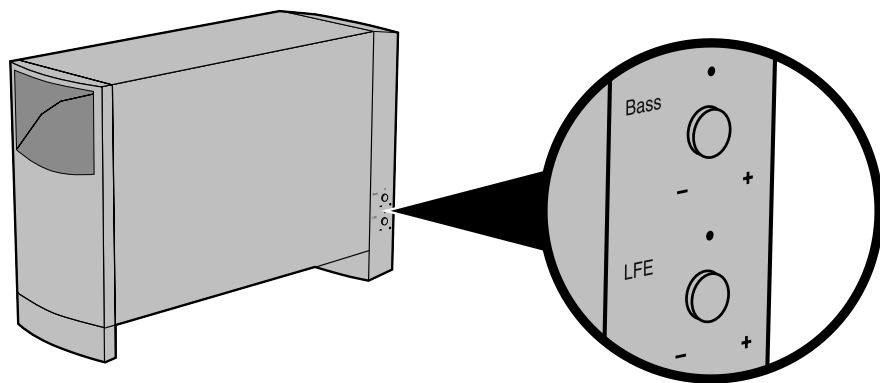
システムの使用

ホームシアター用スピーカーを最大限に活用する

システムの接続を完了してモジュールを電源に接続したら、すぐにAcoustimass®システムを使用できます。

お使いになる前に、音響特性を調整するためにシステムに搭載されたサウンドコントロール機能と保護機能について十分にご理解ください。用途と好みに応じてさまざまな調整が可能です。

注意: このシステムには、電氣的ストレスや過負荷による損傷からシステムを保護するための自動保護回路が搭載されています。音量レベルを上げると、この回路が作動して出力を低減するため、音が若干小さくなります。ホームシアターを楽しんでいる間に音が小さくなった場合は、このシステムが仕様どおり機能しています。この音量自動調節機能は、システムへの入力及安全なレベルを超えた場合にも作動します。保護回路が作動するようなレベルで続けて出力するのはおやめください。



部屋に合わせて低音の音量を調節する

Acoustimassモジュールを使用する場所に設置したら、設置場所に合わせてサウンドを微調整できます。この調整は必要な場合にのみ行ってください。

例:

- 低音の音量が不足している場合は、BASSコントロールのつまみ(上の図を参照)を右に回すと、モジュールの低音域の出力が増加します。
- 低音の音量が大きすぎる場合は、つまみを左に回すと、モジュールの低音域の出力が低下します。

この設定は、出荷時にほとんどの一般的な室内環境に適した状態に調整済みです。

重低音の音量を調節する

LFEレベルコントロールのつまみ(上の図を参照)は、LFE/SUBWOOFERチャンネルが装備されているアンプと接続しているときに、

このつまみを回すと、映画のサウンドトラックに含まれている低音域の音響効果を相対的なレベルで調整できます。この調整は、LFEチャンネルの音量レベルを他のスピーカーチャンネルのレベルに合わせるために行います。

デジタルサラウンドAVアンプの「試験信号音」機能を使用することで、すべてのレベルをチェックできます。この機能の使用の詳細は、AVアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

デジタルサラウンドAVアンプを設定する

Acoustimass® 6 series VまたはAcoustimass 10 series Vシステムに内蔵されているスピーカーは、デジタルサラウンドAVアンプの音声出力に対する完全な互換性があります。システムの統合信号処理機能により、全チャンネルの低音域周波数をすべて再生することができます。

システムのこれらの機能を最大限に活用するため、アンプの一部の設定を調整することもできます。設定を変更するには、アンプのデジタルディスプレイのメニューを使用します。推奨される設定方法については、下のリストをご覧ください。

スピーカー	レシーバーの設定
フロント左(L)、右(R)	LARGE
センター	LARGE
サラウンド左(L)、右(R)	LARGE
LFE/サブウーファー	ON

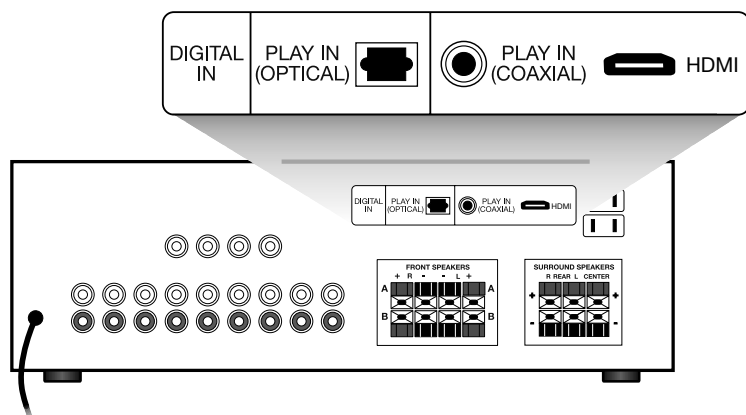
注記: アンプがLFEまたはサブウーファー出力に対応している場合は、オプションをONに設定して、クロスオーバー周波数をできるだけ低い値(通常は80 Hz)に設定してください。

デジタル音声信号を受信する

AVアンプで外部機器(Blu-ray™/DVDプレーヤー、CATV/BS/CSチューナー、ゲーム機など)のデジタル音声信号を受信するには、機器とアンプの間をデジタル音声ケーブルで接続する必要があります。

- アンプのHDMI™入力、光入力、同軸入力のいずれかを使用して、外部機器のデジタル出力を接続します。ケーブルは1本だけ接続してください。
- 必ず、外部機器のセットアップメニューでデジタル出力を選択してください。

セットアップと操作に関する詳細情報は、AVアンプの取扱説明書をご覧ください。



アナログサラウンドAVアンプを設定する

アナログの(デジタル以外の)サラウンドサウンドアプリケーションでは、アンプのサラウンドサウンドのセンターモードを「Wide」に設定することをおすすめします。この設定の変更方法の詳細は、AVアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

故障かな？と思ったら

Acoustimass®スピーカーシステムに問題がある場合は、再生機器をオフにして、以下の解決方法をお試しください。問題が解決しない場合は、Bose®の販売店にご連絡の上、修理をお受けください。直接ご連絡いただく場合は、「お問い合わせ先」をご覧ください。

トラブル	対処方法
システムがまったく動作しない	• アンプとAcoustimassモジュールが電源コンセントに接続され、アンプの電源がオンになっていることを確認します。 • アンプで再生機器(Blu-ray/DVDプレーヤー、CATV/BS/CSチューナー、ゲーム機など)を選択していることを確認します。
音が出ない	• 音量を上げます。 • ヘッドホンを外します。 • ベースモジュール、アンプ、スピーカーの接続をチェックします。 • Acoustimassモジュールとアンプが電源に接続されていることを確認します。 • デジタル音声を使用している場合は、再生機器のデジタル音声出力とアンプのデジタル音声入力、HDMI、同軸、または光ケーブルで接続されていることを確認します。 • 正しい再生機器を選択していることを確認します。たとえば、DVDの音声を再生する場合は、アンプでDVDを選択します。
サラウンドサウンドが再生されない	• ソースコンテンツにサラウンドサウンドが含まれていることを確認します。 • アンプで「ドルビープロロジック」モードを使用している場合は、サラウンドサウンドがオンになっていることを確認します。 • 接続機器(Blu-ray™/DVDプレーヤー、CATV/BS/CSチューナー、ゲーム機など)でドルビーデジタルのコンテンツを再生していることを確認します。 • ステレオテレビ、レーザーディスク、Blu-ray/DVDプレーヤー、その他のサラウンドサウンド再生機器の信号がアンプで処理されていることを確認します。 • デジタルプログラミングを使用している場合は、アンプで正しく設定されていることを確認します。
低音が聞こえない	• アンプとAcoustimassモジュールの間のスピーカー接続が正しい極性で接続されている(+側ケーブルは+極、一側ケーブルは-極)ことを確認します。赤いマーク付きのケーブルは赤の端子に接続します。 • アンプでスピーカーのサイズを大型スピーカーに設定していることを確認します。
低音が小さすぎる、または大きすぎる	• 低音を大きくするには、Acoustimassモジュールを壁や部屋の隅に近付けます。低音を小さくするには、壁や部屋の隅から離します。 • LFEレベルまたは低音部補正の設定を調整します。
音声が歪む	• スピーカーケーブルが損傷していないか確認します。 • アンプに接続している外部機器の音量を下げます。

お問い合わせ先

故障、修理、製品等のお問い合わせ先

ボーズ株式会社 カスタマーサービス
お客様専用ナビダイヤル  0570-080-021

修理品のお送り先

ボーズ株式会社 サービスセンター
〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル
※修理品をご送付いただく際の電話番号は、上記ナビダイヤルをご記入ください

お手入れについて

Acoustimass®スピーカーシステムの外装は柔らかい布でから拭きしてください。システムの近くでスプレーを使用しないでください。また、開口部に液体が入らないようにしてください。溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。

スピーカーグリルには、必要に応じて弱いパワーで掃除機をかけてもかまいません。グリルのすぐ内側にはスピーカーのドライバーがあります。ドライバーは、取り扱いを誤ると破損しやすいのでご注意ください。

保証

保証の内容および条件につきましては、付属の保証書をご覧ください。製品のご登録をお願いいたします。登録は、<http://global.Bose.com/register>から簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

アクセサリ

システムスピーカーは、壁掛けブラケット、フロアスタンド、またはテーブルスタンドにも設置できます。これらのアクセサリにつきましては、お近くのボーズ製品販売店、または弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。なお弊社Webサイトにおきましても、各種アクセサリをご紹介します。

以下のアクセサリもご用意しています。

- Acoustimassモジュールとレシーバーの間の配線を壁の内側に通す場合の入力ケーブル用アダプター
- Acoustimassモジュールとレシーバーの間で使用する6.1 m (20 フィート) 延長ケーブル
- スピーカーケーブルを壁の内側に通す場合のケーブルアダプター

お近くのボーズ製品販売店にお問い合わせください。弊社に直接ご連絡いただく場合は、「お問い合わせ先」をご覧ください。

スピーカードライバーユニット

Acoustimass® 10 system:

- キューブ型スピーカーアレイおよびフロントセンタースピーカー :
6.35 cm (2.5") Twiddler™スピーカー ×2
- Acoustimass モジュール:
13 cm (5.25") ウーファー ×2

Acoustimass 6 system:

- キューブスピーカー :
6.35 cm (2.5") Twiddler™スピーカー ×1
- Acoustimass モジュール:
13 cm (5.25") ウーファー ×1

システムの電源定格

Acoustimass 10 system:

米国/カナダ: 100V ~ 127V ~ 50/60 Hz 50W

ヨーロッパ/オーストラリア: 220V ~ 50/60 Hz 50W

Acoustimass 6 system:

米国/カナダ: 100V ~ 127V ~ 50/60 Hz 50W

ヨーロッパ/オーストラリア: 220V ~ 50/60 Hz 50W

接続

Acoustimass 10 system:

定格出力10 ~ 200W (各チャンネル)、定格インピーダンス4 ~ 8ΩのAVレシーバーおよびアンプに対応

Acoustimass 6 system:

定格出力10 ~ 150W (各チャンネル)、定格インピーダンス4 ~ 8ΩのAVレシーバーおよびアンプに対応

Acoustimass 10 system:

キューブ型スピーカーアレイおよびフロントセンタースピーカー : 1台あたり約1 kg (2.2 lb)

キューブスピーカーアレイ: 18.95 cm (H) x 8.32 cm (W) x 8.49 cm (D) (7.46"H x 3.28"W x 3.34"D)

フロントセンタースピーカー : 8.70 cm (H) x 18.68 cm (W) x 8.27 cm (D) (3.43"H x 7.35"W x 3.26"D)

モジュール: 約15.8 kg (35 lb)

41.4 cm (H) x 20.6 cm (W) x 64.3 cm (D) (16.3"H x 8.1"W x 25.3"D)

Acoustimass 6 system:

キューブスピーカー : 1台あたり約0.45 kg (1.18 lb)

9.5 cm (H) x 8.3 cm (W) x 8.4 cm (D) (3.7"H x 3.2"W x 3.3"D)

モジュール: 約12.2 kg (27 lb)

41.4 cm (H) x 20.6 cm (W) x 56.6 cm (D) (16.3"H x 8.1"W x 22.3"D)



729503-0010

BOSE[®]
Better sound through research[®]
©2015 Bose Corporation, The Mountain,
Framingham, MA 01701-9168 USA
AM729503 Rev. 02